

2017年度部会概要

2017年7月4日
(一社) 日本テレワーク協会

1. サードワークスペース研究部会

① 活動内容

・テレワークを推進するにあたっては、オフィス・自宅以外のサードワークスペースの活用が今後重要となる。そこで本研究部会ではサードワークスペースを活用するために、働く場所についての理解を深め、レポートや必要となるツールの試作を行う。「企業の生産性を上げ、同時に個人の QOL を向上させる」ワークスタイルを追求し続けることを目標とする。

・定例会にて、サードワークスペース活用についての研究を以下のように行う。

1) 企業側が(サードワークスペースを含む)ワークスペース選択を容易にする基準案やアイデアを取りまとめる。

2) 上記実現のためにサードワークスペース事業者から収集すべき情報の一覧化を可能とするシステムを検討する。

② 活動期間

2017年7月～2018年3月

③ 実施頻度

定例会を月1回開催(8月を除き8回開催予定)

④ 第1回開催予定

日時 : 7月27日(木) 15:00～18:00

場所 : 東京 YWCA 会館2階 217会議室(東京都千代田区神田駿河台1-8-11)

⑤ 体制

部会長 : 株式会社シーエーシー 齋藤 学

副部会長 : 合同会社ユビキタスライフスタイル研究所 萩原 高行

アドバイザー : 株式会社 NTT データ経営研究所 小豆川 裕子

事務局 : (一社) 日本テレワーク協会 内山 明人

⑥ (参考) 昨年度の部会参加者数 : 95名(延べ出席者数)

⑦ その他 : 今年から Web 会議システムで遠隔地からもご参加もできるようにする予定です。

2. ライフコース多様化とテレワーク部会

① 活動内容

・テレワークは、多様なライフコースにおける多様なライフイベントと仕事との両立に有効である。育児・介護等による離職を防止し、休業・短時間勤務からフルタイム勤務への復帰をサポートして、企業とワーカーとの Win-Win の関係実現に貢献することができる。今期は、変化著しいワークスタイルの様々な事例について更なる調査・検討を行うと共に、労働制度、ダイバーシティとテレワーク(男女にわたって育児・介護

のみならず心身にハンディキャップを持った方々なども視野に入れたテレワークの広がり)の現状などについて研究を進め、テレワーク推進の課題や対策の更なる深掘りを行う。また、「テレワーク川柳」についても引き続き取り組む

② 活動期間

2017年7月～2018年3月

③ 実施頻度

定例会を月1回開催(8月を除き8回開催予定)

④ 第1回開催予定

日時 :7月21日(金) 14:30～16:30

場所 :東京YWCA会館217会議室(東京都千代田区神田駿河台1-8-11)

⑤ 体制

部会長 :株式会社NTTデータ 北村 有紀

アドバイザー :国際女性教育振興会 佐藤 百合子

事務局 :(一社)日本テレワーク協会 荒木 浩一

⑥ (参考)昨年度の部会参加者数 :150名(延べ出席者数)

⑦ その他 :今年度も Web 会議システムで遠隔地からもご参加もできるようにする予定です。

3. 第4次産業革命(インダストリー4.0)とテレワーク研究部会

① 活動内容

・今期は、AI の分野の研究者等との交流、並びにマーケティング、働き方改革研究者を交え、雇用面での影響、とりわけ、どのような新たな雇用が創出されるかを分析し、テレワークの課題や対策を研究していく。

② 活動期間

2017年7月～2018年3月

③ 実施頻度

年4回

④ 第1回開催予定

日時 :8月9日(水) 15:00～17:00

場所 :東京YWCA会館会議室(予定)

⑤ 体制

部会長 :株式会社いわきテレワークセンター 三浦 拓馬

アドバイザー :横浜国立大学 田名部 元成

事務局 :(一社)日本テレワーク協会 今泉 千明

⑥ (参考)昨年度の部会参加者数 :約20人

4. テレワーク最新技術動向研究部会 (2017年度新設部会)

① 活動内容

・テレワークを支えているICT技術について、技術動向や具体的な事例について調査研究する。特に、

商品化されたツールの形で、テレワークの先駆的企業で実際に使われている事例を取り上げて評価することで、これからテレワークを導入する企業にとっての参考となるように取り組む

・ユーザおよびベンダ双方の視点を持って実施する。

具体的には以下のようなテーマを案として、部会に参加するメンバーと相談して定例会を実施する。

(1) モバイルテレワーク環境

スマホを用いてモバイルテレワークを実施するためのツール事例

- ・業務内容:メール確認、スケジュール確認、スマホで何ができるか?
- ・セキュリティ:セキュアブラウザ、セキュアコンテナ

(2) 働き方改革におけるテレワーク管理ツールの動向

勤怠管理や在席管理のツールに対して働き方改革の流れが及ぼす影響。

(3) システム強靱化に対応するテレワーク環境

ネットワーク分離における画面転送技術など、安全なテレワークの考え方。

(4) ロボットなどの新しいテレワークツール

テレワークにおけるロボットや人工知能などの未来型技術動向

② 活動期間

部会に参加するメンバーと相談して決める。

③ 実施頻度

部会に参加するメンバーと相談して決める。

④ 第1回開催予定

部会に参加するメンバーと相談して決める。

⑤ 体制

部会長 : (一社)日本テレワーク協会 鈴木 達郎

アドバイザー : 未定

事務局 : (一社)日本テレワーク協会 鈴木 達郎